



### ◆原稿募集◆

次号の締め切りは、8月31日です

コウノトリは会員の皆さんで作る機関誌です。たくさんの原稿をお待ちしています。1000字程度の「鳥との出会い」をはじめ、この「みんなのひろば」のような皆さんの身のまわりの出来事・紀行文・自然保護に関する主張等、400字程度にまとめていただければ幸いです。鳥信、カット、写真も大歓迎です。

原稿は手書き、ワープロ、電子メール、何でも結構です。電子メールのアドレスは、下記のとおりです。（裏表紙のアドレスには投稿しないで下さい。）

[hensyuu@mbp.nifty.com](mailto:hensyuu@mbp.nifty.com)

### 野鳥の思い出

宝塚市 梅田 美佐子

私の鳥との出会いは、幼稚園の頃でした。九州長崎から移り住んだ西宮、我が家には、メジロ団地がありました！どうやら…宝塚の山からメジロはトリモチで、父に捕獲され、やって来たのです、鳥菜をすり鉢とすりコギで作る餌の音が懐かしい…今では信じられない光景です！メジロのあの色と、あのさえずに、なんてかわいい家族なんだろうと幼い頃から思っていました、突然いなくなってほんとは、悲しかったです…保護鳥に指定され、父も寂しかったと思います。

23年前に宝塚市に引っ越し、犬を飼い、石切山に散歩へ…野鳥の出迎えに驚きました！ホーホケキョの声にウグイスと気がつき色を見てびっくり！コツコツと音に導かれ、なんと、かわいいコゲラ！私を案内する様に、小枝から小枝に…ルリビタキ、幸せの青い鳥に出会えた気分です。正式に家族会員になり2年…1月27日に探鳥会初デビューをしたのに、怪我をしてしばらく探鳥会はお預け…せめて「みんなのひろば」にと、投稿致しました。毎日、野鳥に癒されてます。自然って、すばらしいですね。

### 胸の白いカワウ(続編)

尼崎市 新田 朋子

2008年6月5日、「カワウ広域フォーラム」が滋賀県大津市にて開催されました。環境省と滋賀県の主催によるもので、行政関係者、漁業関係者、研究者など、様々な角度からカワウを見つめている関係者が集まる場でした。昨年、カワウとサギのコロニー調査に携わらせていただ

いたこともあり、カワウと聞くとなんとなくじっとしておられず、「行ってみよー！」と思って行ってきました。

「広域」とうたっているだけあり、開催地の滋賀県はもちろん、山梨県、愛知県、岐阜県、大阪府の関係者からカワウの生息状況や取組事例などが報告されました。兵庫県からの報告はなかったのですが、出席しておられた兵庫県の漁業関係者の方とお話することができました。

さて、こんなフォーラムです。「カワウについて詳しい方」がわんさと来られると思い、金光さまの「胸の白いカワウ」の記事が掲載されていた前号のコウノトリ164号を持参いたしました。会場でお会いした専門家のおふたりに支部報を見ていただいたところ、おふた方から「若い個体ですね」との回答をいただきました。同時にお伺いしたわけではなく別々にお伺いしたのに、同じような"即"答ぶりに、なんだかおかしいやら自分の不勉強が恥ずかしいやら・・・

今回、教えていただいたのは、兵庫県

立人と自然の博物館 遠藤菜緒子研究員とNPO法人バードリサーチ 加藤ななえ研究員です。この場をお借りして、お礼申し上げます。

加藤様からは「5月1日という観察日からして、この個体は前年生まれの若鳥と考えられます。」との詳しい年齢も教えていただきました。

身近な鳥でも、知らないことってたくさんあるなあつくづく感じます。金光様、いい機会を与えてくださってありがとうございました。とりあえず、病気の心配はないようですよ。以上、ご報告いたします。



## 黒田官兵衛の末裔

# 黒田の殿様 鳥絵展 「鳥の詩」

## 黒田長久 鳥絵展

前山階鳥類研究所長・日本野鳥の会会長を歴任され、現在、山階鳥類研究所名誉会長・(財)黒田奨学会総裁・播磨の黒田武士顕彰会名誉会長である、黒田15代当主、黒田長久氏の直筆の鳥類絵画を一同に展示します。(入場無料)

日 時：平成20年7月30日～8月4日 AM10:00～PM6:00

場 所：姫路大手前通り 三木美術館2F

同時開催：黒田武士の世界 東京・黒田武士の館 本山一城コレクション  
黒田官兵衛・二十四騎 甲冑・武具【本歌】等 展示

主 催：播磨の黒田武士顕彰会

後 援：姫路市・黒田サミット実行委員会

## ツグミ終認記録(神出1周26km)

神戸市 西馬 浩三

ここ数年、神戸市西区神出ではツグミを「5月1日には見かけるが、5日には見られないな」と思っていた。そこで今年は1週間調べてみることにした。

### 調査方法

- ①神出1周26kmのコースを設定
  - ②朝5時ごろから車で約1時間をかけて回る
  - ③調査の中で、このコースの中では表中の7地点にツグミが残っていることがわかったので、車をとめて注意深く観察した。
  - ④7日・8日の観察時間は10分程度
- 残留鳥は、近くに耕した田があってもそこに移らず、ほとんど同じ田にいるらしい。
  - 4月3日 これまで気にとめていなかった五百蔵団地南東の田で偶然1羽見つけた。次の日には代かきで水が張られていたので、いないかと思ったら、畦に2羽いた。
  - 予想通り5月5日に0羽を確認したので、5月6日も0羽を確認し終了の予定にしていたが、6時7分1羽

を確認したので、この地点だけもうしばらく観察を続けることにした。

- 5月7日・8日・9日と0羽を確認したので、調査を終了した。

### 結論

今年の神戸市西区神出町でのツグミ終認は5月6日

## 『鳥枯れ』時期の楽しみ

明石市 長尾 高明

毎年、7月を過ぎると見られる鳥の種類が急に減って、おまけに猛暑の中なので「冬眠」ならぬ「夏眠」と称して秋までサボってたのですが、今年は自分のフィールドで「ベビーブーム」到来となり、不本意ながら汗だくで観察を続けています。

定番のツバメ、スズメ、カルガモの他に子宝に恵まれたのは、ケリ、カイツブリ、コアジサシ、コチドリ、ハッカチョウ、ハクセキレイ、カワラヒフ、などなど。これだけ、汗をかいたのだから、さながら「バードウォッチング・ダイエット」といききたいところですがその分ビールを呑んでしまうので、かえって太ってしまいました。とほほ。

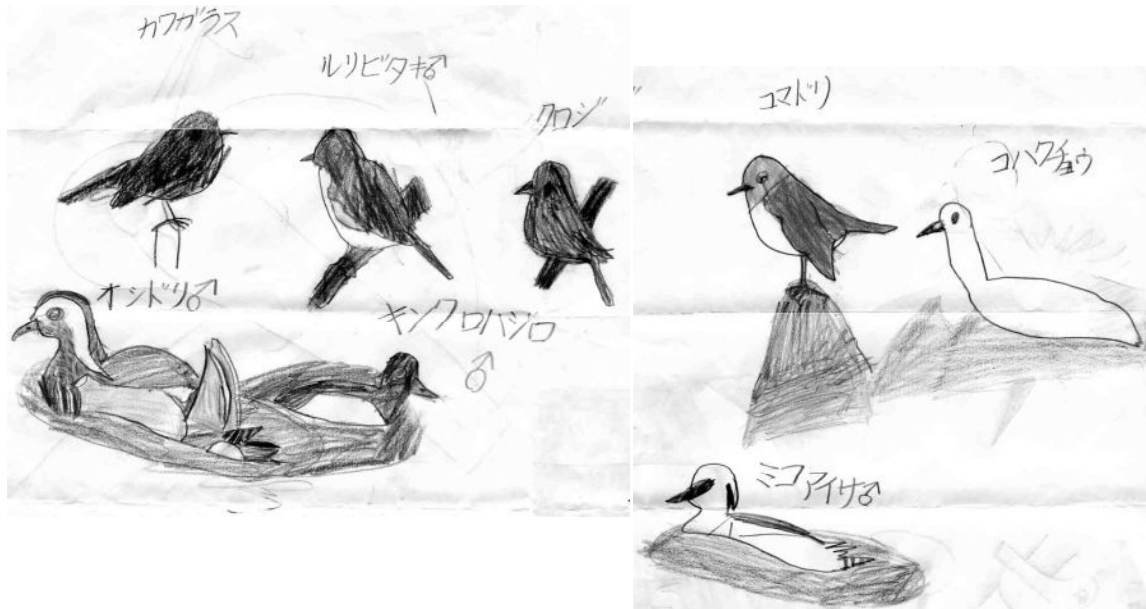
観察日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	5月9日
観察羽数	14	8	7	3	4	3	0	1	0	0	0
内	開拓東南		1	1	0	0	0	0	-	-	0
	古神交差点南		2	1	1	0	0	0	0	-	0
	五百蔵					1	2	0	0	-	0
	北						(1)	0	0	-	0
訳	池下1	6	0	0	0	近<の田 2	0	0	0	0	0
	池下2	3	1	2	2	1	0	0	0	0	0
	池下3	1	2	2	0	0	1	0	1	0	0
出発時刻	4:50	5:10	5:13	4:50	5:05	5:25	5:10	5:05	6:00	6:05	5:00

※ ( ) は90%確認、10%不確か。表中の空欄は、特に注意して確認せず。-は調査せず。



●会員の梅沢泰成君（7歳）の作品です。カラーでお見せできないのが残念。

とりの8しゅをえにしました。



### 姫路市自然観察の森行事予定

#### ◆ 夜の森・しぜんウォッチング

日時：8月9日（土）19:00～21:00（雨天決行）  
申込：7月29日（火）までに往復葉書（当日消印有効）か電子メールで  
①行事名②参加希望者全員（保護者を含む）の氏名とふりがな③年齢④住所  
⑤電話番号⑥参加動機⑦参加経験の有無を記入し申込

参加費：無料

定員：45名（応募多数の場合は抽選）

対象：小学生以上 高校生以下は保護者同伴

内容：ふだんは見ることのできない夜の森を歩き、いきものたちを観察します

#### ◆ 夏休みミニガイドウォーク

日時：8月3日（日）、10日（日）、17日（日）、  
24日（日）9:30～10:30（雨天決行）  
申込：当日センターで受付（申込不要）

参加費：無料

定員：制限なし

対象：どなたでも ただし小学生以下は保護者同伴

内容：レンジャーと、夏休みの森をのぞいてみよう！

問合せ先：川島賢治（かわしまけんじ） 財団法人日本野鳥の会サンクチュアリ室  
姫路市自然観察の森担当 チーフレンジャー  
〒671-2233 姫路市太市中915-6 TEL:079-269-1260 FAX:079-269-1270  
<http://www.wbsj.org/sanctuary/himeji/>